

平成 28 年 1 月 28 日

各 位

上場会社名	株式会社ドリコム
代表者	代表取締役社長 内藤 裕紀
(コード番号)	3793)
問合せ先責任者	取締役 経理本部長 後藤 英紀
(TEL)	03 - 6682 - 5700)

第 3 四半期累計期間業績予想との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 27 年 10 月 29 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期第 3 四半期業績予想と本日公表の実績の差異、及び平成 28 年 3 月期第 3 四半期において特別損失を計上することについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異について

(1) 平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間業績予想と実績の差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,000	△350	△350	△300	△21.97
実績値(B)	4,888	△319	△322	△689	△50.50
増減額(B-A)	△112	31	28	△389	
増減率(%)	△2.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期第3四半期)	5,632	324	307	127	9.41

(2) 差異の理由

当社は、第 2 四半期より他社著作権ゲームを中心とした新たな事業戦略へ移行し、人的・財務的リソースを新規他社著作権ゲームに集約して開発力を強化すべく、既存・開発中のゲームの収益性および社内リソースの配分を見直しました。開発中のオリジナルゲーム 2 本については、将来の収益性について保守的な再評価を行い、第 3 四半期における減損処理を決定いたしました。なお、第 4 四半期においても引き続き開発は継続し、新規著作権ゲームへの流用を視野に入れ、今後の方針について決定する予定です。既存オリジナルゲーム「崖っぷちバスターズ」につきましては、今後も収益性の改善が難しいとの判断から、第 3 四半期での減損処理を決定し、合計で 3 5 9 百万円の減損損失を特別損失として計上いたします。併せて、第 3 四半期連結累計期間 (9 か月) の事業進捗に伴い、主に当事業年度の営業損失により計上した繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額 3 2 百万円を計上することとし、当期純利益は前回予想を下回り 6 8 9 百万円の損失となる見通しです。

第 3 四半期の営業利益につきましては、全社でのコスト最適化への取り組みの結果、コストの発生が抑制され、前回予想を上回る見通しです。

2. 特別損失の計上について

上記の理由から、開発中のオリジナルゲーム 2 本と「崖っぷちバスターズ」でソフトウェアの減損損失 3 5 9 百万円を特別損失として計上いたします。

以 上